

宗四小だより 夏休み号

志木市立宗岡第四小学校
志木市上宗岡 1-1-2
048-473-5250
平成27年 7月17日

学校教育目標 ○考える子ども ○思いやりのある子ども ○はたらく子ども ○じょうぶな子ども

チャレンジする夏休みに！

校長 坂口 栄二



田んぼの稲

明日から子どもたちが楽しみにしていた夏休みです。今年は**チャレンジする夏休み**にしてほしいと願っています。

子どもたちはこの1学期の間、様々な体験を積んできました。国語や算数などの学習、あいさつや集団行動などの生活、友だちや地域の人たちとの交流を通じた人間関係づくりなど、たくさんの体験を通じて大きく成長いたしました。これも、ご家庭や地域のご協力、ご支援のおかげです。ありがとうございます。

さて、夏休みは学校に来ている時と比べると、比較的**時間を自由に使えます**。したがって、朝早くから夜遅くまで植物の観察をしたり、家のお手伝いをしたりなど普段できないことをすることができます。**学校では体験できない様々な体験**をしてきてほしいと思います。

ところで、1学期間子どもたちと接していて感じるものがたくさんありました。その中の一つに、「**新しいことに取り組む時、躊躇する子が多い**」ということがあります。新しいことにチャレンジせず、周りの子の様子を気にしてやらなかったり、周りの子と同じことしかやらなかったりする子が実に多いのです。

このことはある意味正しいと思います。人は新しい知識や技能を獲得する時、人のまねをすることから始めます。多くの子どもたちはこのことを実践している様に思います。



これはこれでとても大切なことだと思いますが、反面、**自分のやりたいことをやらなかったり、自分のよさを発揮できなかつたり**しています。

このことは子どもたちが自分自身に**力をつけることができない**ので、とても残念なことだと考えます。

考えてみると、私たち人類は、**夢をも**

ちながら様々なチャレンジをして発展してきました。

たとえば、「鳥のように空を自由に飛びたい」という夢をかなえるために、腕にたくさんの鳥の羽をつけて高いところから飛び降りたり、翼の形に似せて作った板を腕にはめて高いところから飛び降りたりしました。もちろんうまくいくはずがありません。しかし、そのような**失敗を繰り返しながら**、飛行機や熱気球、ハンググライダーなどを発明して、自由に空を飛び回ることができるようになりました。



他にも「月に行ってみよう」という夢をもってロケットを発明したり、「遠くの人と話したい」という夢をもって電話やパソコンなどを発明しました。

このように私たち**人類は、たくさんの人がたくさんのチャレンジをして、失敗しながらもたくさんの夢をかなえてきました**。宗岡第四小学校の子どもたちも、失敗を恐れず、**様々なことにチャレンジできる人間になってほしい**と思います。

夏休みはいい機会です。植物の観察でもいいですし、家のお手伝いでもいいです。興味があることで今までやれなかったことでもいいです。**勇気をもって何かにチャレンジ**してほしいと思います。

地域・保護者の皆様、子どもたちのチャレンジにご支援をお願いします。

～夏休みは危険がいっぱい～

- <交通事故> 特に自転車に乗るときは注意！
- <不審者> 知らない人にはついていかない！
- <雷> 入道雲が見えたら気をつけよう！
- <豪雨・台風> 外出は控えよう！

安全な夏休みを過ごしましょう！

～夏休みを計画的に～

夏休みの課題等は計画的に、早めに進めるよう、ご家庭でもご指導をお願いいたします。